

**公益社団法人日本新体操連盟**  
**平成 25 年度第 5 回理事会議事録**

1. 会議名： 平成 25 年度第 5 回理事会  
2. 日時： 平成 26 年 3 月 10 日（月）13 時 00 分～14 時 00 分  
3. 場所： 東京都千代田区丸の内 1-7-12  
「東京ステーションコンファレンス 601 号室」  
4. 構成員現在数： 16 名  
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）朝倉 正昭（副 会 長）石崎 朔子（副 会 長）  
福本 隆（副 会 長）荒井 隆（専務理事）関田史保子（常務理事）  
渡辺 守成（常務理事）池田真喜子（理 事）岡 久留実（理 事）  
谷口 裕代（理 事）橋本 千波（理 事）  
以上 11 名  
6. 欠席役員： 秋山エリカ（理 事）上村 郁代（理 事）崇島 慎一（理 事）  
谷原 誠（理 事）山崎 浩子（理 事）田中 元（監 事）  
以上 6 名  
7. 議案：  
決議事項  
第 1 号議案 平成 26 年度事業計画総会について（定款第 4、35 条、第 4 章関連事項）  
第 2 号議案 その他

8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

（公社）日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を福本隆副会長と岡久留実理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 11 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田理事が進行を務めるよう依頼した。

(5) 議決事項

第 1 号議案 平成 26 年度事業総会について（定款第 4、35 条、第 4 章関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 年間スケジュール

平成 25 年度同様のスケジュールを組んでいる。25 年度違うところは夏にインターハイが東京体育館で開催される関係上、クラブ選手権が千葉ポートアリーナで開催となった。

2. 全日本新体操クラブ選手権

「第 23 回全日本新体操クラブ選手権」を 8 月 23 日から 26 日に千葉ポートアリーナにて開催する。2 部リーグの種目も第 22 回大会同様ボール、クラブ、リボンで行う。

3. 全日本新体操クラブ団体選手権

「第 14 回全日本新体操クラブ団体選手権」を 9 月 6 日 7 日で東京体育館にて開催する。

種目も第 13 回大会同様シニア・クラブ 10、ジュニア・フープ 5 で行う。

4. 世界新体操クラブ選手権

「イオンカップ 2014 世界新体操クラブ選手権」を 10 月 17 日から 19 日に東京体育館で開催する。20 回目の記念大会となる。前回理事会で出た改革案は日数が迫っているため、平成 27 年度から実施したい。

5. 日本新体操祭

「第 15 回日本新体操祭」をイオンカップ中日 10 月 18 日に東京体育館で同時開催する。イオンカップの開催方法に伴い、新体操祭の開催方法も検討していく。

## 6. 全日本新体操チャイルド選手権

「第17回全日本新体操チャイルド選手権」「第14回全日本新体操キッズコンテスト」を2月20日から22日に東京体育館で開催する。種目は第16回大会の予選種目と決勝種目を入れ替えて、5・6年生の部予選リボン・決勝クラブ、3・4年生の部予選ボール・決勝ロープとする。

## 7. 指導者育成セミナー

指導者育成セミナーを平成25年度と同様に予定した。現在理事会においてセミナーの改革を行っている最中であり、26年度中に改革案を決定し、27年からは新制度で始めたい。

## 8. 質疑・意見

石崎副会長より、前回理事会で世界選手権上位入賞チームをイオンカップに招待する件について26年度の予定を確認する質問があった。池田理事より、毎年招待はしているがイオンカップ大会開催時期が世界選手権終了1か月後のため、チームを解散していることもあり中々実現していない。今年も海外チームを招待してみる。

二木会長より、2014年のスケジュールが国際体操連盟の主要行事との兼ね合いを確認する質問があった。渡辺常務理事より中国で開催の「世界体操競技選手権」がイオンカップと同時期になる可能性があったが先日の国際体操連盟理事会においてイオンカップの1週間前に開催することが正式に決まった。その他についても重なっている行事は無いことが報告された。

## 9. 決議

以上の後、平成26年度事業予定については全会一致で決議した。

## 10. 平成26年度予算案について

平成26年度事業予定が平成25年度同様に予定しているため、予算案もほぼ平成25年度と同様になる。大会に関しては平成24・25年度の実績に近づけ増減してある。

収入では、世界クラブ選手権が約2000万増の2億2355万円

全日本クラブ選手権が約150万減の1361万5000円

全日本団体選手権が約3万円増の833万円

全日本チャイルド選手権が約220万減の1800万円

支出では、世界クラブ選手権が約1900万円増の2億2402万円

全日本クラブ選手権が125万円減の1360万円

全日本団体選手権が約45万円増826万5000円

全日本チャイルド選手権が140万減の1800万円

としている。

以上のことから事業活動収入計2億8820万8000円

事業費支出計が2億7549万8000円

管理費が平成25年度同様1271万円

事業活動支出計2億8820万8000円

予備費100万円計上し

前期繰越差額1350万7395円から当期収支差額をマイナス100万円を差し引き次期繰り越し収支差額を1250万7395円とした。

## 11. 質疑・意見

二木会長より、バジテストを予算計上しているが、バジテストは早めに実施したい。と意見があった。池田理事より現在理事会などで話を進めているセミナー改革と一緒にバジテストも進めているため、実施案ができ次第実施できる旨の回答があった。

渡辺常務理事より、現在国際体操連盟のクズミナさんをお願いしているセミナーはクズミナさんのスケジュールなどの観点からも変革の時を迎えている。また、海外のライバル国の競技力向上具合を見ると、日本の育成システムに遅れが見られる。指導者育成の必要性の再確認が求められ、同席の理事の意見も一致した。

## 12. 決議

以上の後、平成26年度事業予算案については全会一致で決議した。

第2号議案「その他」について

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 26 年 3 月 10 日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 25 年度第 5 回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 福 本 隆

同 岡 久留実